

## 名古屋市における基幹的広域防災拠点施設の設計

## —人口に膾炙する防災拠点としての提案—

The design of the central wide area disaster prevention base institution in Nagoya

Suggestion as the disaster prevention base that is known to everybody

○細矢祥太<sup>1</sup>, 佐藤信治<sup>2</sup>\*Shota Hosoya<sup>1</sup>, Shinji Sato<sup>2</sup>

By the Tohoku district Pacific offing earthquake generated on March 11, 2011, a suffering area will let you realize the importance of throughout East Japan and broad-based disaster prevention measures again. The Tokai earthquake that drew near as future disaster prevention measures in the near future, action reinforcement and the promotion for 3 interlocking movement earthquakes of the southeast sea, the south seas earthquake that approximately occurs in a uniformity period are raised in the 2011 version disaster prevention white paper announced in June of the year, and the concern to these 3 earthquakes rises more. In three major urban areas supporting economy of our country, it is only the Nagoya zone that the maintenance of the wide area disaster prevention base of the nucleus to prepare for a major earthquake is non-start, and immediate maintenance is urgent business. Therefore, in the Nagoya zone whom the concern to a major earthquake is sublimed into, I open in the town, and this plan designs the suggestion of the wide area disaster prevention base of the complexed nucleus to be known to everybody.

## 1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、被災区域が東日本全域に及び、広域的防災対策の重要性を再認識させることとなった。

同年 6 月に公表された平成 23 年度版防災白書<sup>[注 1]</sup>では今後の防災対策として、近い将来に切迫した東海地震、及びほぼ一定周期で発生している東南海・南海地震の 3 連動地震に対する取り組み強化と促進が掲げられるなど、これらへの懸念はさらに高まっている。

我が国の経済を支える三大都市圏において、大地震に備える基幹的広域防災拠点の整備が未着手であるのは名古屋圏のみであり、早急な整備が急務である。

そこで本計画は、大地震への懸念が高まる名古屋圏において、街に開き、人の記憶に残る複合型の基幹的広域防災拠点の提案・設計を行うものである。

## 2. 計画背景

## 2.1 名古屋圏において懸念されている大地震

名古屋圏には、直下型地震の発生が懸念されている養老断層、桑名断層などが内陸部に存在し、東海地震、東南海地震、南海地震は個々の発生はもちろんのこと、3 連動での発生も現実味を帯びてきている状況にある。

## 2.2 東海・東南海・南海 3 連動地震の被害想定

最も被害が大きいとされる早朝 5 時に 3 連動地震発生した場合の想定では、静岡県、愛知県などで最大震

度 7 を観測、北は茨城県、南は鹿児島県までの広い範囲で津波が観測される。また、建物全壊棟数は 56 万 8600 棟、死者数は約 2 万 8300 人、経済被害は約 81 兆円にも及ぶと考えられている。

## 2.3 名古屋圏における基幹的広域防災拠点の必要性

名古屋圏は、首都圏、京阪神都市圏と並ぶ三大都市圏であり、本圏域における甚大な被害は、我が国の経済社会全体に多大な影響を及ぼすと考えられる。

被災時に迅速かつ円滑な応急復旧活動を展開し、被害を最小限に抑えるためには、本圏域の司令塔となる基幹的広域防災拠点の早急な整備が必要である。

## 2.4 基幹的広域防災拠点の現状

首都圏及び、京阪神圏に既に整備されている基幹的広域防災拠点は、広大なオープンスペースのある臨海部に位置している。各圏域の核となる防災拠点としての面積を有する一方で、アクセスしにくく、多くの人に認知されにくいという課題もある。

## 2.5 防災施設に求められる機能

防災施設は、発災時に情報、物資、医療等の拠点として機能すると同時に、平常時には市民活動の拠点としても機能することが望ましいとされている。防災施設には、異常時の機能を主体とした施設、異常時の機能と平常時の機能を併用した施設、平常時の機能を主体とした施設がバランスよく併存する必要がある。

1:日大理工・院・海建, Graduate school, Dept. of Oceanic Architecture & Eng. College of Science and Technology, Nihon Univ.

2:日大理工・専任講師・海建, Assistant Prof, Dept. of Oceanic Architecture & Eng. College of Science and Technology, Nihon Univ. Dr. Eng.



Figure.1 防災施設の関連施設の分類

3. 計画方針

3.1 都市型の基幹的広域防災拠点として

防災拠点施設は、平常時から街に対して開き、人が流動し、広く認知される場でなければ、震災時の活躍は期待できない。本計画では、充実した都市機能・周辺環境との相乗効果や付随機能の導入により、普段から人が行き交う場、人の記憶に折り込まれる場として施設提案を行うものとする。

3.2 防災啓発施設として

震災時は、普段からの人々の防災意識の充実が被害を最小限に抑える原動力となることは過去の震災の教訓として残っている。本計画は、人々の防災意識の高まりに寄与する施設計画を行う。

4. 基本計画

4.1 敷地選定

計画地は、名古屋駅より南方約 1km に位置するささしまライブ 24 地区に選定する。



Figure.2 計画地

4.2 敷地特性

- 1)名古屋駅から徒歩約 10 分圏内に位置する。
- 2)半径2km 圏内の人口密度が名古屋市を上回っている。
- 3)周辺に広域避難場所が多数存在する。
- 4)震災時の緊急物資の輸送ルートとして期待されている

る中川運河終点の船だまりに面している。名古屋市では貴重で広大な水面であり、有効利用が可能である。

5)三方を鉄道、高速道路に囲まれ、人々に認知され易い場所である。

6)住宅や教育機関、集客施設が近接している。

4.3 全体計画

防災施設が他のビルディングタイプと大きく異なる機能上の基本的な課題は、平常時と災害時に分かれることであり、どちらも重要な点にある。特に、平常時にいかに市民によく利用されるかということが災害時に活躍するためには必要である。本計画では、災害時の機能を平常時においても多様な市民活動の場となり得るものとして機能転換する施設計画とする。

4.4 ゾーニング計画

計画地中央をコア部隊ベースキャンプとし、ヘリポート、広域支援部隊ベースキャンプ、災害医療支援とスムーズな連携を図れる配置とする。また、計画地南側は、大須通(6 車線道路)や緊急輸送ルートとして期待される中川運河の船だまりと接しており、南方 5km に位置する愛知県中核災害拠点病院<sup>[注 2]</sup>とも地続きであることから、災害医療支援ゾーンとして計画する。



Figure.3 ゾーニング計画図

[参考文献・注釈]

[1]「建築設計資料 52 地域防災施設」, 建築思潮研究所, 建築資料研究社, 1995.06  
 [2]「基幹的広域防災拠点整備調査の概要」, 愛知県, 2004.03  
 [3]「名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想」, 内閣府, 2004.07.07  
 [4]「東海地震に係る被害想定結果について」, 東海地震対策専門調査会, 2003.03.18  
 [注 1]「平成 23 年版防災白書」, 内閣府, 2011  
 [注 2]災害拠点病院の指定について, 旧厚生省, 1997